

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ー分析から見てきた成果・課題と今後の取組についてー

区 名	淀川区
学 校 名	北中島小学校
学校長名	坂 幸之介

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立北中島小学校では、第6学年 53名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率は、国語・算数・理科すべてにおいて大阪市・全国平均を上回っており、これまでの学力向上にかかわる取組の積み重ねが成果として表れている。平均無回答率もすべての教科において大阪市・全国平均を下回っており、児童が最後まで粘り強く取り組んだことが窺える。

児童質問紙では、「自分には、よいところがあると思いますか」の項目において、肯定的な回答が大阪市・全国よりも多かった。一方で、自己有用感をあらわす「人の役にたつ人間になりたいですか」については、肯定的な回答が大阪市・全国平均よりわずかに少なかった。また、基本的な生活習慣が形成されていることや友だち関係に満足していると考えている児童も大阪市・全国平均より肯定的な回答が多かった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕国語科の平均正答率は大阪市・全国平均を超える結果となった。普段の学習の積み重ねやブロック化による学力推進事業での学びサポーターの配置、学力向上支援チーム事業による教員一人一授業(公開授業)などの取組により丁寧な指導ができている結果といえる。一方で、内容別にみると「A話すこと・聞くこと」においては、大阪市・全国平均をともに下回る結果となり課題である。

〔算数〕算数科の平均正答率も大阪市・全国平均を上回った。内容別にみても全内容において大阪市・全国平均を上回った。昨年度まで校内研究で算数科を取り上げていたことに加え、朝の学習による基礎学力の定着や日常の丁寧な指導による学力向上が実を結んでいる。

〔理科〕理科においても、平均正答率と内容別ともに大阪市・全国平均を上回った。専科指導によるきめ細かい指導の成果が実を結んでいる。

質問調査より

前述のとおり、「自分には、よいところがあると思いますか」の項目において、肯定的な回答が大阪市・全国平均よりも多かった。本校の課題である自己肯定感の低さに対するこれまでの取組の成果が表れてきている。そのことは「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」の各項目の数値からも分かるところである。一方で、自己有用感をあらわす「人の役にたつ人間になりたいですか」については、肯定的な回答が大阪市・全国平均よりわずかに少なかった。学校教育において引き続き、児童の自己肯定感や自己有用感を醸成していく必要がある。また、生活習慣をあらわす朝食や早寝、早起きに関する項目は肯定的な回答が多く、家庭や保護者の日々のご尽力の賜物であると言える。

今後の取組(アクションプラン)

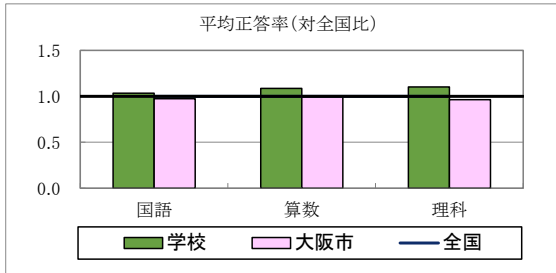
どの教科においても、「主体的・対話的で深い学び」の授業実践に取り組む。そのために、前述した「分析から見えてきた成果・課題」をふまえ、個別最適な学びによる一人ひとりの学力形成と話し合い活動による協働的な学びを実践していく。

自己肯定感や自己有用感のさらなる向上を図るために、引き続き教職員が子どもの頑張りを認め、しっかりと褒めていく。また、学級内における係活動や全校でのなかよし班活動(たてわり班活動)など多様な経験の場を設定する。さらに、全学年において本校自主教材「きこうよはなし」に取り組み、他者意識をもち、相手のことを思いやり行動にうつすことができる児童を育成していく。

【 全体の概要 】

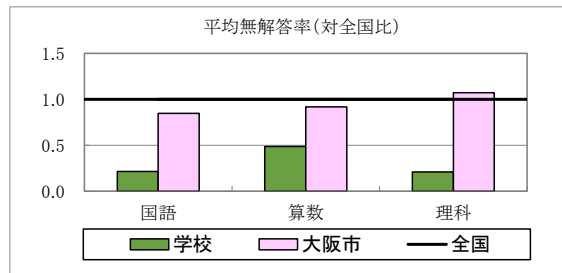
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	69	63	63
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



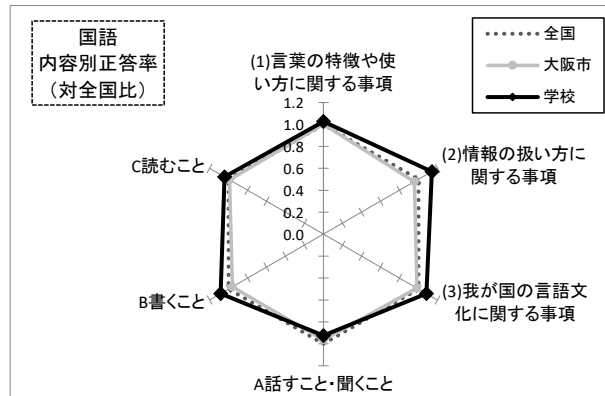
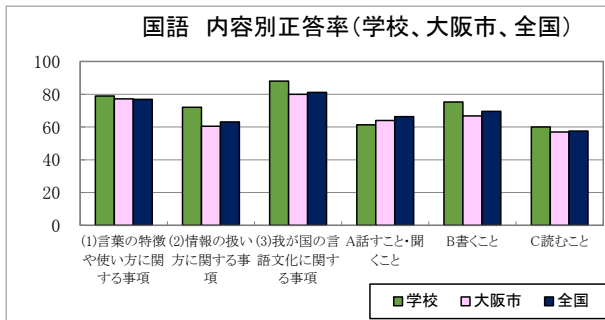
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	0.7	1.8	0.6
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



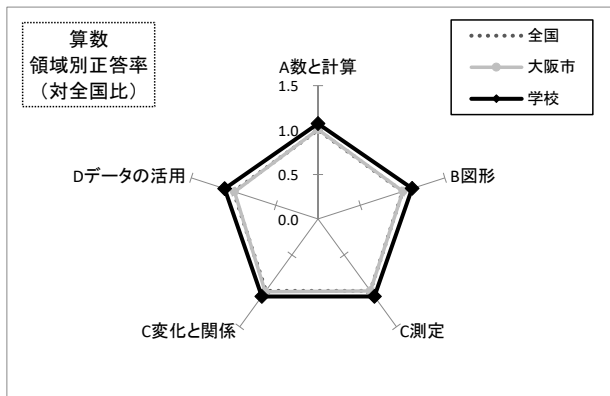
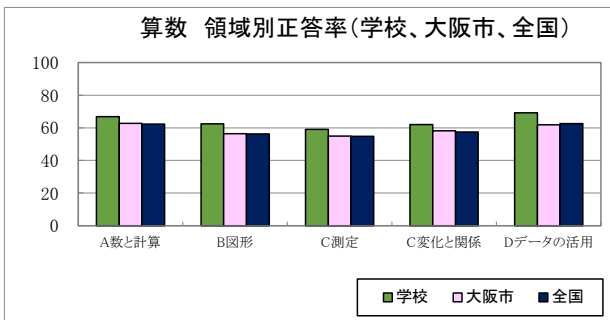
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	79.0	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	72.0	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	88.0	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	61.3	64.0	66.3
B 書くこと	3	75.3	66.7	69.5
C 読むこと	4	60.0	56.9	57.5



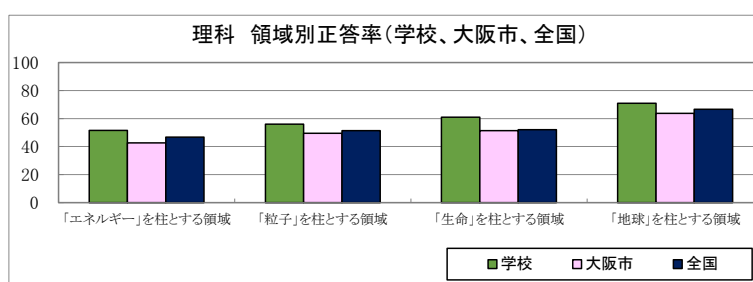
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	66.8	62.7	62.3
B 図形	4	62.5	56.4	56.2
C 測定	2	59.0	54.9	54.8
C 変化と関係	3	62.0	58.2	57.5
D データの活用	5	69.2	61.9	62.6

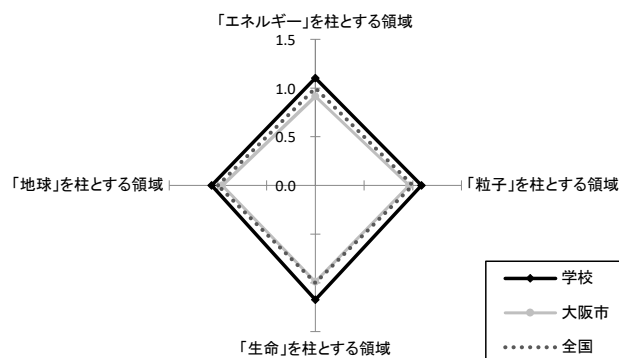


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	51.5	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	56.0	49.5	51.4
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	61.0	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	71.0	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

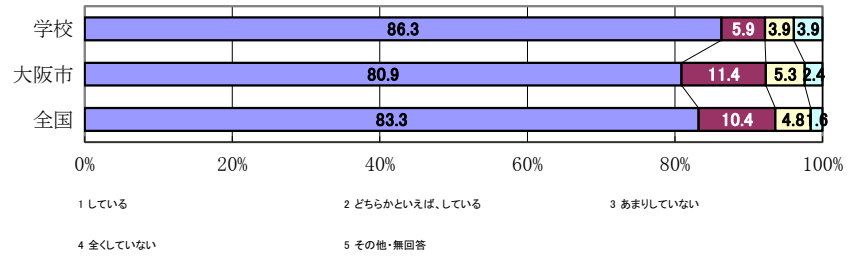
質問番号

質問事項

1

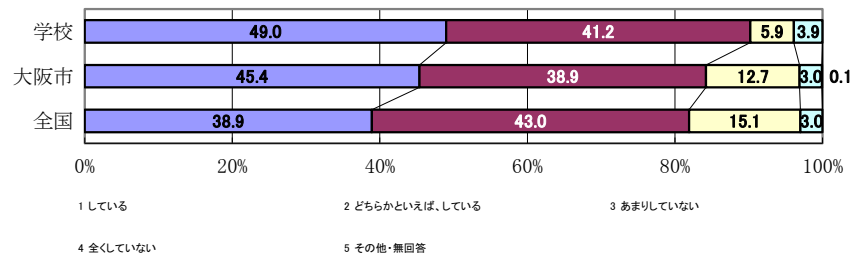
朝食を毎日食べていますか

1 2 3 4 5 6 7 8



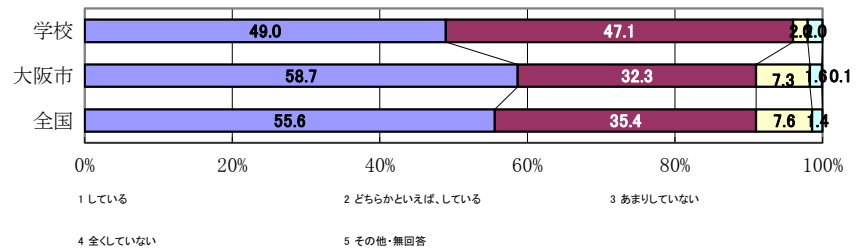
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



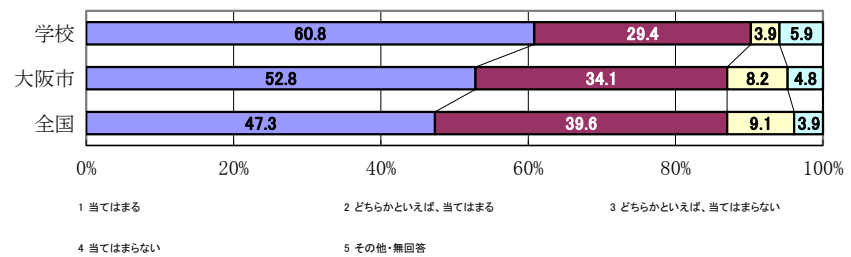
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



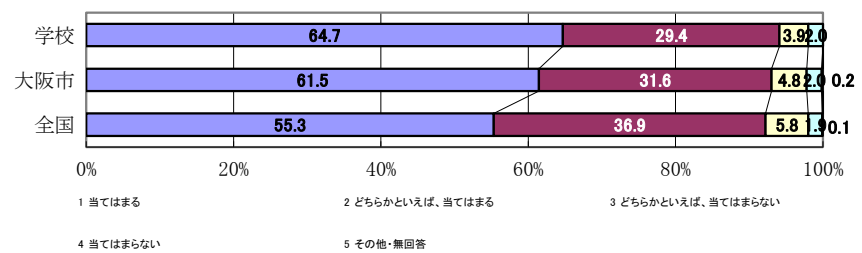
5

自分には、よいところがあると思いますか



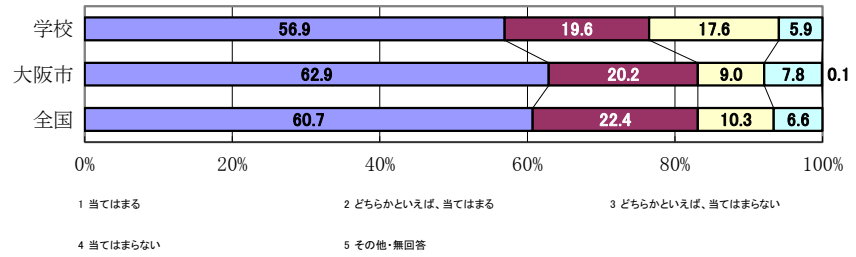
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

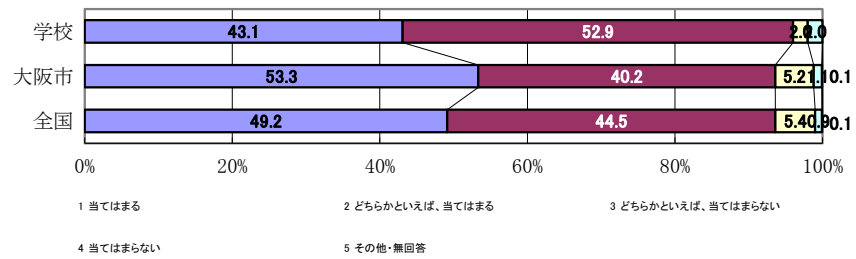


児童質問より

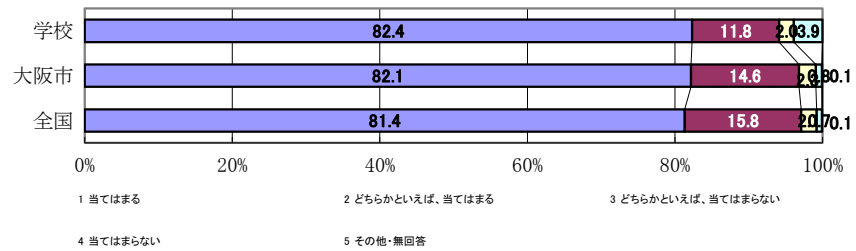
質問番号
質問事項
7
将来の夢や目標を持っていますか



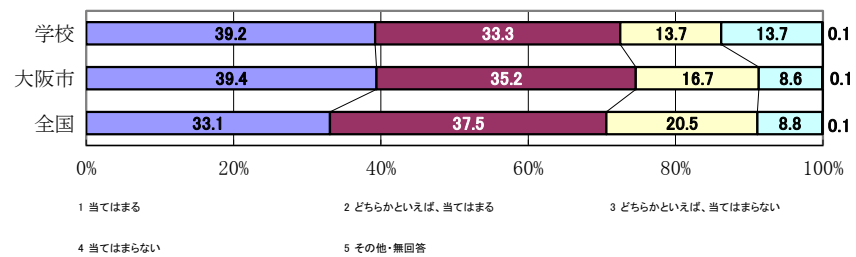
質問番号
質問事項
8
人が困っているときは、進んで助けていますか



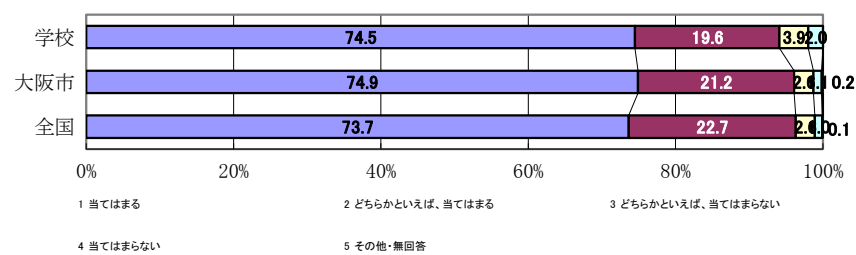
質問番号
質問事項
9
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



質問番号
質問事項
10
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

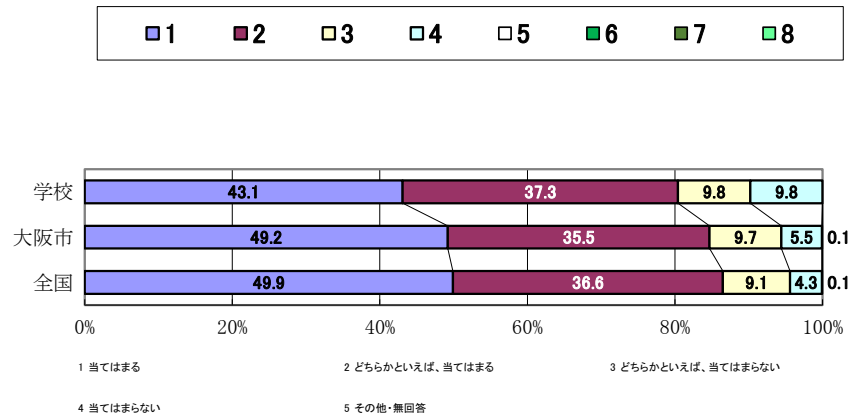


質問番号
質問事項
11
人の役に立つ人間になりたいと思いますか

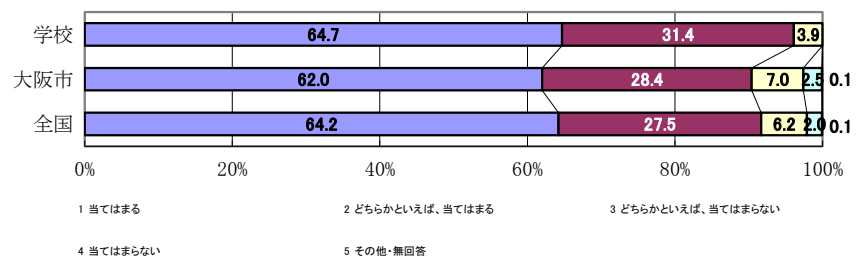


児童質問より

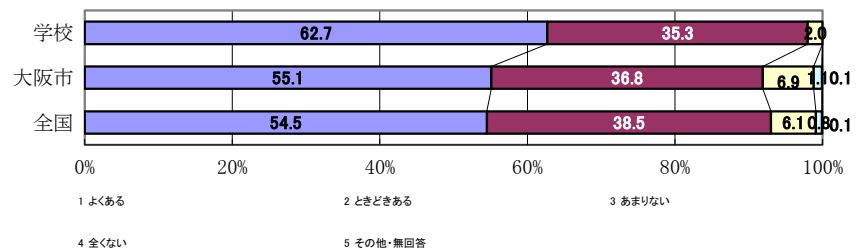
質問番号
質問事項
12
学校に行くのは楽しいと思いますか



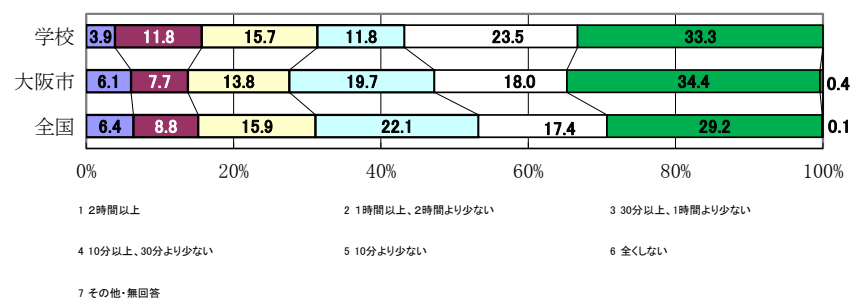
14
友達関係に満足していますか



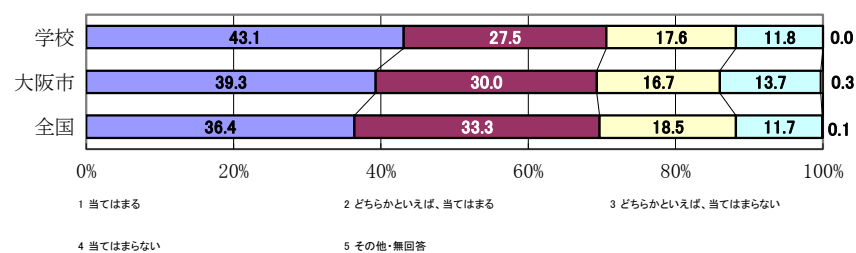
15
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



21
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)

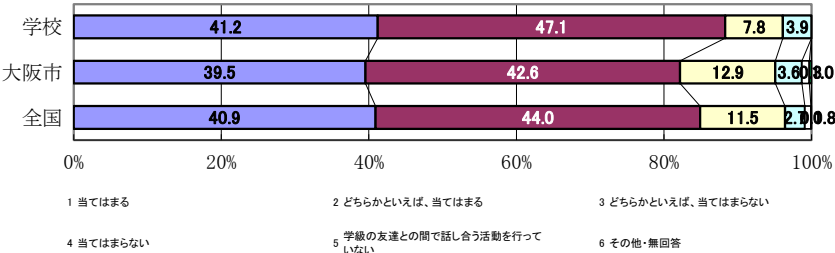


24
読書は好きですか

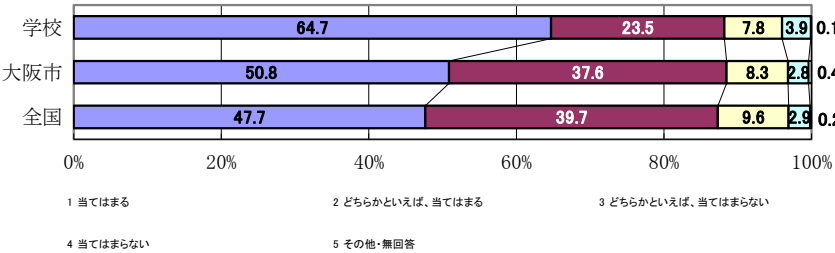


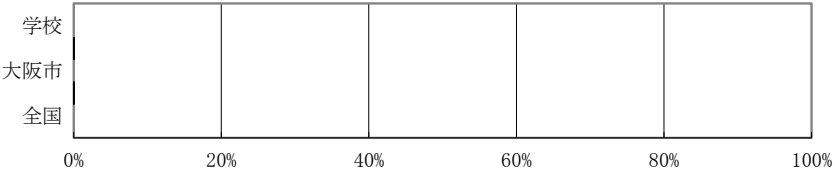
児童質問より

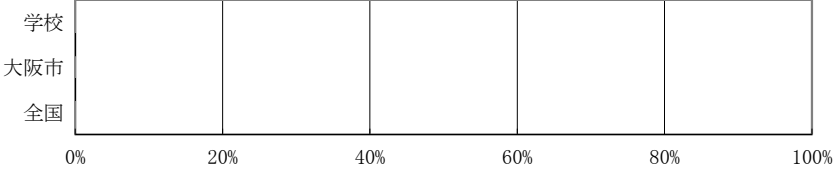
質問番号
質問事項
35
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

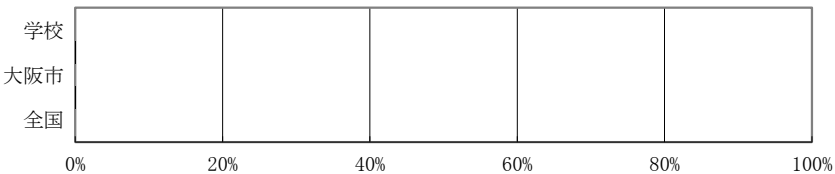


38
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか









学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

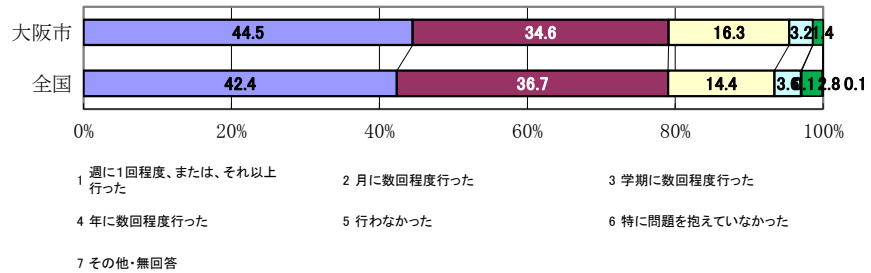
質問番号

質問事項

11

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

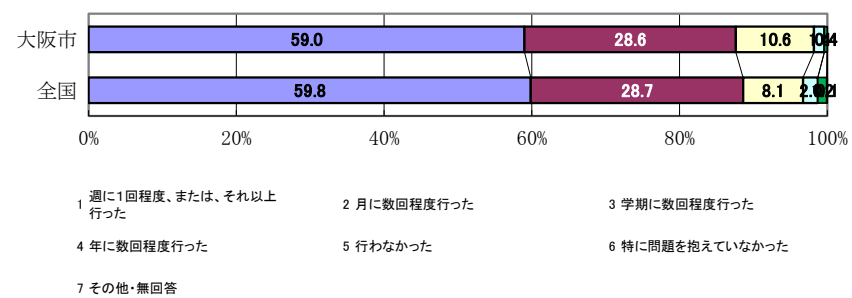
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



12

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

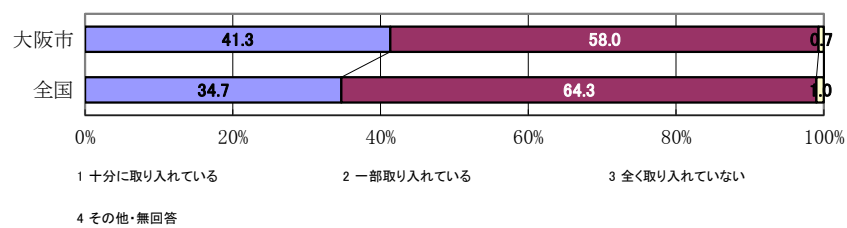
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

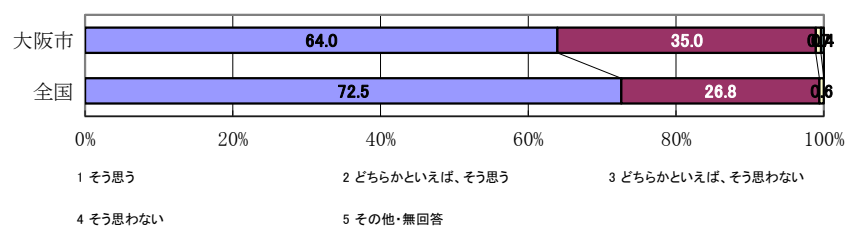
学校 「十分に取り入れている」を選択



23

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか

学校 「そう思う」を選択



学校 「」を選択

